

【調査結果の概要】

1 令和2年6月30日現在の在庫量

令和2年6月30日現在における1農業経営体当たりの米の在庫量は257kgとなり、前年同月に比べ13.8%減少した。

このうち精米を除く在庫量は239kgとなり、前年同月に比べ15.5%減少した。

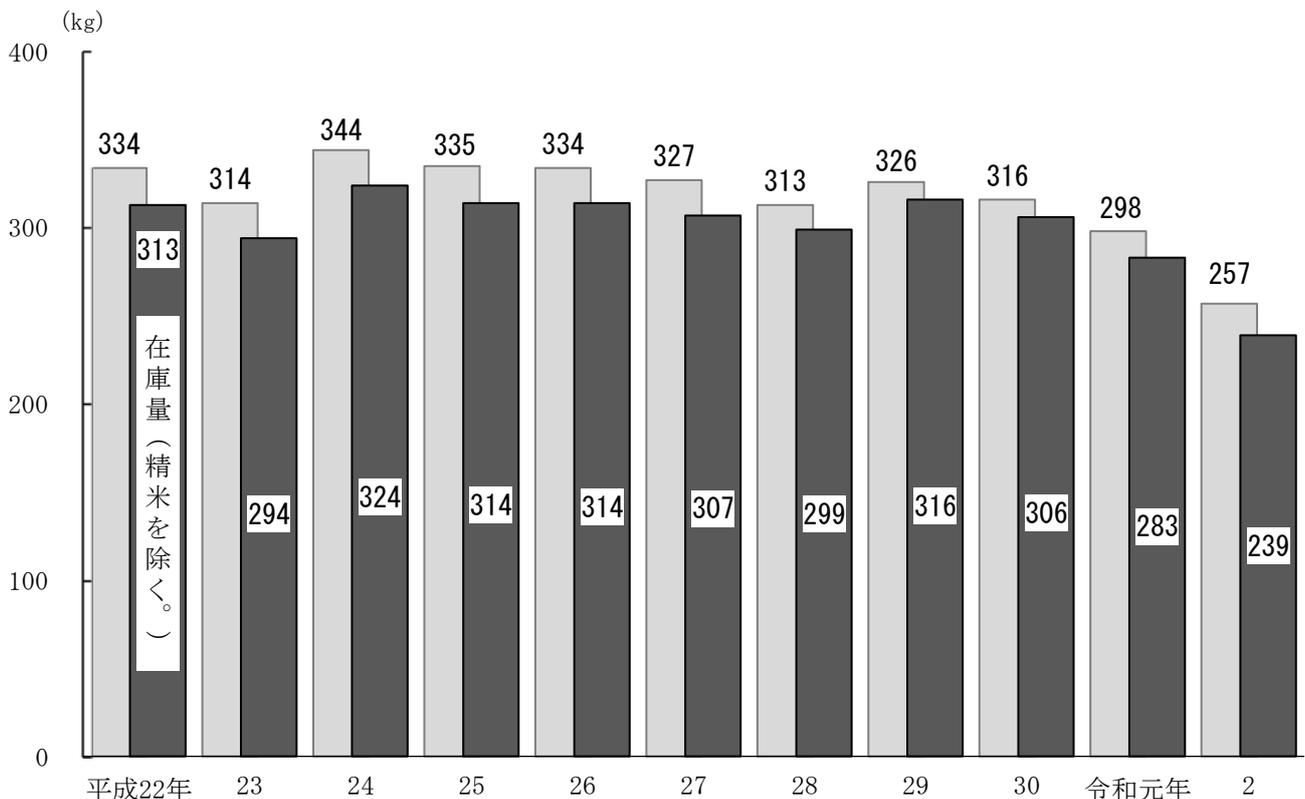
表1 6月30日現在における米の在庫量（全国）

区分	令和元年 6月30日現在	令和2年 6月30日現在	前年同月との比較	
			対差	増減率
	kg	kg	kg	%
在庫量	298	257	△ 41	△ 13.8
うち精米を除く	283	239	△ 44	△ 15.5

注：1 在庫量とは、農業経営体が保管している主食用の米穀の量をいい、販売予約済又は手付金受領済のものであって、現品を当該農業経営体以外の者に引き渡していないものを含む（以下同じ。）。

2 在庫量は、玄米換算した数値である（以下同じ。）。

図1 6月30日現在における米の在庫量の推移（全国）



注：平成30年までの調査対象は販売農家であるが、令和元年以降の調査対象は農業経営体である。

2 令和元年（令和元年6月～令和2年5月）

- (1) 令和元年における1農業経営体当たりの米の収穫量は8,191kg、販売量は7,565kg、自家消費量は386kgとなり、前年に比べそれぞれ161kg（2.0%）の増加、71kg（0.9%）の増加、5kg（1.3%）の減少となった。
- (2) 令和2年5月31日現在の1農業経営体当たりの米の在庫量は337kgとなり、前年に比べ31kg（8.4%）の減少となった。

表2 米の収穫量、販売量、在庫量等（全国）

区 分	平成30年	令和元年	前年との比較	
			対 差	増減率
	kg	kg	kg	%
収 穫 量	8,030	8,191	161	2.0
購 入 量	102	98	△ 4	△ 3.9
販 売 量	7,494	7,565	71	0.9
無 償 譲 渡 量	223	237	14	6.3
自 家 消 費 量	391	386	△ 5	△ 1.3
5月31日現在の在庫量	368	337	△ 31	△ 8.4

注： 5月31日現在の在庫量は、平成30年は令和元年5月31日現在の在庫量であり、令和元年は令和2年5月31日現在の在庫量である。

3 令和元年の水稲うるち米の販売先別販売量の割合

令和元年における1経営体当たりの水稲うるち米の販売先別販売量の割合は、JA等が最も多く69.0%、次いで卸・小売業者が16.4%、一般消費者等が10.8%、外食事業者が1.6%の順となった。

図2 水稲うるち米の販売先別販売量の割合（全国）

